©うえもんくん

江美城新聞

2023年4月　発行

江美城を探る会監修

新年度になり、
江美城新聞をリニューアルしました！

江美城を探る会の昨年の12月講座では、フィールドワークとして、黒坂の「鏡山城址」と根雨の「たたらの楽校」を見学しました！

鏡山城址

　慶長15年（1610）伊勢国（三重県）亀山城主関一政は関ヶ原の戦いの勲功により、日野・会見・汗入（あせり）のうち5万石を与えられます。防御面から黒坂へ築城を考え、城下町を造ったようです。
　元和3年（1617）には因幡・伯耆の領主となった池田光政の老中池田長政が城を預かりましたが、一国一城令が幕府から命じられ、鏡山城は陣屋となってしまいます。
　寛永9年（1632）池田光仲が因幡・伯耆の領主となり、光仲の宿老で番頭筆頭である福田久重がこの地を治めました。そして、明治2年（1869）まで自分手政治を行っていたようです。

　フィールドワークでは、ガイドの方に丁寧に案内をしてもらいながら、今も残っている井戸や石垣を見ることができました。

　文章について
　黒坂鏡山城下を知ろう会『黒坂歴史めぐり』・黒坂鏡山城下を知ろう会発行のパンフレット「城下町黒坂の歴史と自然を訪ねて」等参照

たたらの楽校

鏡山城址見学の後は、根雨の「たたらの楽校」を見学しました。

日野郡には、多くのたたら場があると言われています。蜂塚氏が製鉄を生業としていたことや『鉄山秘書』の著者下原重仲氏が江府町宮市出身であることなど、江府町に深く関係する「たたら」を今回は学びました！

高殿模型

（たかどの）

（安来市の和鋼博物館から譲渡）

たたらの楽校

幕末以降の山陰のたたら産業を取り仕切っていたと言われるのが「鉄山師、近藤家」です。たたらの楽校では、彼らの歴史とたたらの経営についてのパネルが展示されています。

（パンフレット「たたらの里　奥日野」参照）

ガイド研修　出雲街道ウオーク

12月3日、江美城を探る会のガイド研修として、奥日野ガイド倶楽部の「出雲街道ウオーク2022年歩き納め」というイベントに参加しました。イベント後は、特別にガイドについて様々なことを伝授していただきました。

「江美城を探る会」4月・5月の講座予定

4月16日（日）・5月21日（日）

講座：一町報一　昭和46年9月10日発行

井上中山香作「江美十七夜物語」解説Ⅰ・Ⅱ

講師：仲田先生

場所：愛ベル（防災・情報センター）２階　１４：００～

©うえもんくん